NEC

MultiWriter 4M550

取扱説明書

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

ご使用前に必ずお読みください

本機を使用される前に、『リファレンスガイド』に記載されている「使用権許諾条項」（アドビ社のソフトウェアの使用に関する条項）を必ずお読みください。『リファレンスガイド』は弊社公式サイトでご覧になれます。
各ソフトウェアは、対象となる各条項にご承諾いただける場合のみご使用ください。使用を開始されたときは、各条項のすべてをご承諾いただいたものとさせていただきます。もし、「ソフトウェア使用許諾事項」にご承諾いただけない場合は、本商品をお買い求めいただいた販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

ソフトウェアの使用許諾について

同梱メディアを皆様にご提供するに当たり、下記の「ご使用条件」にご同意いただくことを、提供の条件とさせていただきますので、パッケージを開封される前に下記の「ご使用条件」を必ずお読みください。 なお、皆様がパッケージを開封された場合には、本「ご使用条件」にご同意いただいたものとしますので、万一ご同意いただけない場合には、ご使用されませんようご注意ください。

ご使用条件

- 弊社は、このメディアで提供する情報について、内容や正確性・安全性などについては商品性および特定の使用目的への適合性についての保証を含め、黙示的にも明示的にもいかなる保証もいたしません。
- このメディアで提供する情報の著作権は弊社に帰属します。
- メディアの内容を金銭の授受の如何を問わず第三者のためにまたは第三者に対し、複製、加工、販売、出版、閲覧、公開することはできません。

免責事項について

弊社は、使用者がこのソフトウェアを使用することによって発生した、直接的、間接的もしくは波及効果による損害、データ・プログラムその他無体財産に対する損害、使用利益および得べかりし利益の損失等に対して一切の責任も負わないものとします。

日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)の compact Wnn を使用しています。compact Wnn (C) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2012-2013 All Rights Reserved.

最新情報を入手する

公式サイトにアクセスします。

https://jpn.nec.com/printer/laser/

サポート情報を確認する

1. ［サポート］をクリックして、最新情報を確認します。

マニュアル（リファレンスガイド）を確認する

1. ［ダウンロード］をクリックします。
2. 表示されたページで、［マニュアル］をクリックします。
3. お使いの機種および必要なマニュアルを選びます。

ソフトウェアをダウンロードする

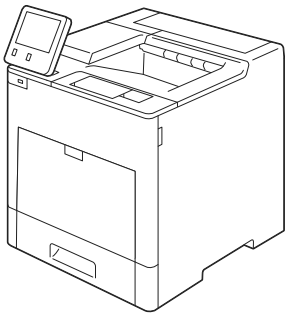
1. ［ダウンロード］をクリックします。
2. 表示されたページで、［ソフトウェアダウンロード］をクリックします。
3. お使いの機種をクリックします。
4. ダウンロードするソフトウェアをクリックします。
5. 内容を確認し、ページ下部からソフトウェアをダウンロードします。

日本電気株式会社
2022年10月　　GM1673J1-1 （第1版）

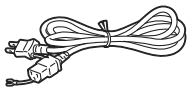
本機のセットアップ

1. 同梱物を確認します。

- 本機



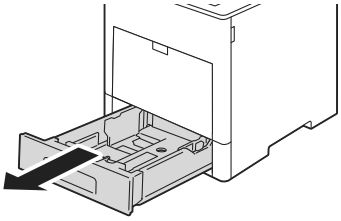
- 電源コード



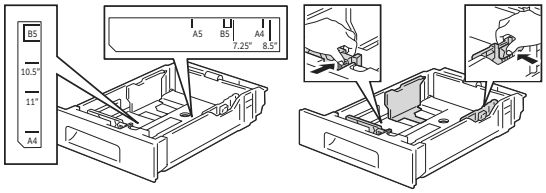
- 取扱説明書（本書）
- 「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスク
- Wi-Fi アダプタ
- 保証書

2. 用紙をセットします。

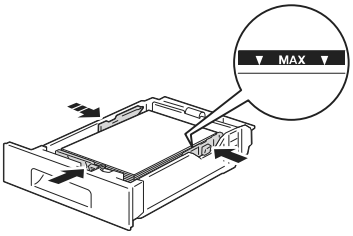
1) 用紙トレイが止まるところまで引き出し、用紙トレイの手前を少し持ち上げ、用紙トレイを本体から取り外します。



2) 用紙ガイドレバーを用紙サイズに合った位置まで移動します。



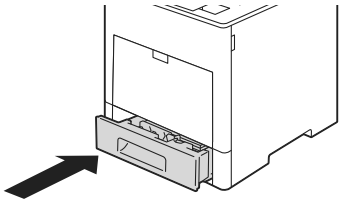
3) 用紙をよくさばいてから、コピーまたはプリントする面を上にして、用紙トレイに用紙をセットします。



注記

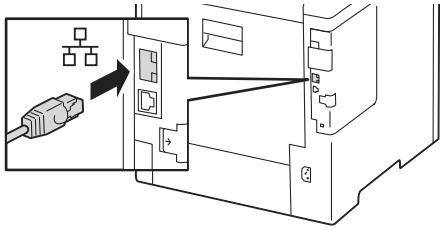
- 用紙上限線（「MAX」の位置）を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。

4) 用紙トレイを本機に差し込み、奥に突き当たるまでゆっくりと挿入します。



3. 本機をコンピューターに接続します。

有線 LAN 接続

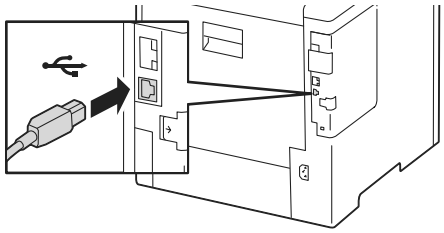


無線 LAN 接続

補足

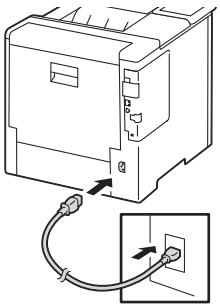
- Wi-Fi アダプタを取り付けます。設定方法は、『リファレンスガイド』を参照してください。

USB 接続

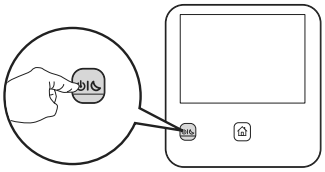


4. 本機の電源を入れます。

1) 電源コードを本機とコンセントに接続します。



2) 電源 / 節電ボタンを押します。



ソフトウェアのインストール

Windows

1. コンピューターに「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクをセットします。
2. ［おまかせセットアップ］をクリックします。

3. 画面の指示に従ってインストールします。

補足

- 必要なソフトウェアだけを選んでインストールする場合は、［お好みインストール］を選びます。詳しくは、「リファレンスガイド」を参照してください。

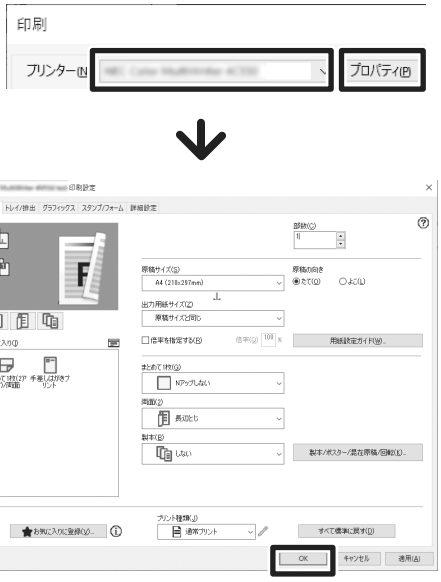
Mac

「ソフトウェア / 製品マニュアル」ディスクの次の場所に格納されている Mac 用のマニュアルを参照して、ソフトウェアをインストールします。
［Manuals］＞［Mac］＞［Japanese］

主な操作

プリント

1. コンピューターからプリントを指示します。
2. プリンターを選択し、プロパティを設定して、［OK］をクリックします。



3. ［OK］をクリックします。

ログイン

1. 認証情報表示エリアをタップします。
2. ユーザー ID を入力します。

補足

- 機械管理者権限でログインすると、［機械管理者］と表示されます。

安全にご利用いただくために

プリンターを安全にご利用いただくために、このマニュアルの指示に従って操作してください。このマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、製品内で危険が想定される場所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。
お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

安全にかかわる表示

各警告図記号は以下のような意味を表しています	
⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。

⃠記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。

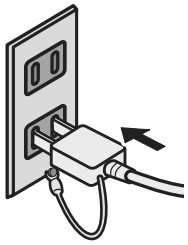
安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示」を参照してください。

電源およびアース接続時の注意

⚠ 警告

電源コードのアース線を取り付ける

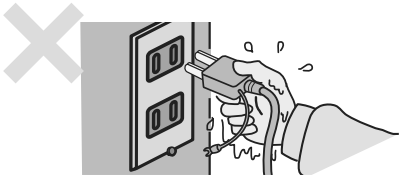


万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐために、アース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース線
- 銅片などを 850mm 以上の地中に埋めたもの
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、設置接続（アース線）を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。
ご使用になる電源コンセントのアース線をご確認ください。アースが取れない場所や、アースが施されていない場合は、お買い求めの販売店または NEC の相談窓口にお問い合わせください。

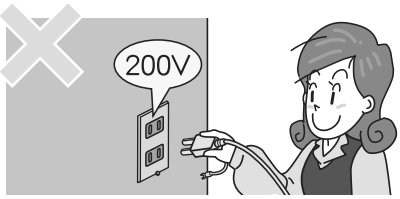
ただし次のようなところには絶対にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発のおそれがあります）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

ぬれた手で電源プラグを触らない



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電するおそれがあります。

100V 以外のコンセントに差し込まない



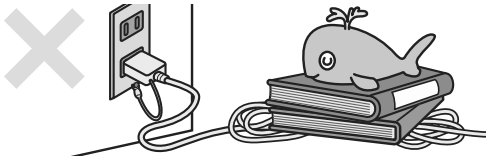
電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。
プリンターの定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。プリンターの定格電圧値および定格電流値は、プリンター背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

⚠ 注意

専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

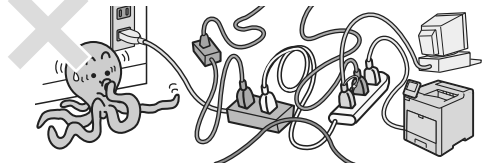
電源コードは曲げたりねじったりしない



電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。

延長コードを使わない

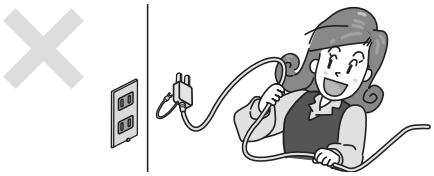


添付のコードのみでは届かないところには設置しないでください。コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。
電源接続に関してご不明な点がある場合は、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご相談ください。

添付の電源コードを他の装置や用途に使わない
添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

清掃を行う場合は電源プラグを抜く
プリンターの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずにプリンターの清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。

電源コードを抜くときはコードを引っ張らない



電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し火災や感電の原因となるおそれがあります。

本製品の電源を完全に切るためにはコンセントから電源プラグを抜かなければいけません。
緊急時に容易にプラグを抜くことができるように本製品はコンセントの近くに設置してください。

設置時の注意

⚠ 警告

電源コードを踏まない場所に設置する
プリンターは、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

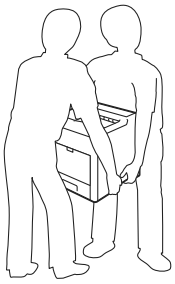
発熱器具に近い場所には設置しない
以下のような場所にはプリンターを設置しないでください。
- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 調理台や加湿器のそばなど

⚠ 注意

直射日光が当たるところには置かない

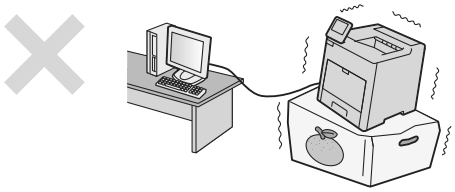
プリンターを窓ぎわなどの直射日光があたる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

プリンターを運ぶときは 2 人以上で



プリンターの重量は、約 21.6kg（消耗品含む）です。プリンターを持ち上げるときは、プリンターの左右の手かけ部分を、2 人でしっかりと持ってください。
指示した場所以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

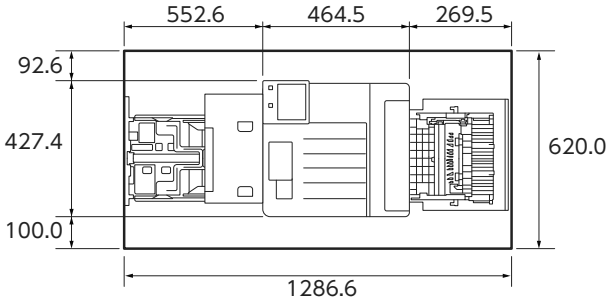
不安定な場所に置かない



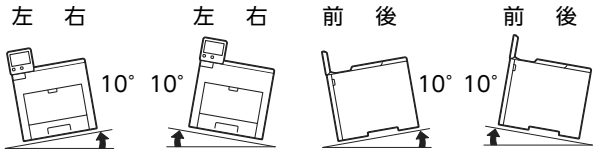
プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

設置時は周囲のスペースを確保し通気口はふさがない
プリンターには通気口があります。プリンターの通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

プリンターを安全に正しく使用し、プリンターの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、プリンターの異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。



プリンターを傾けない



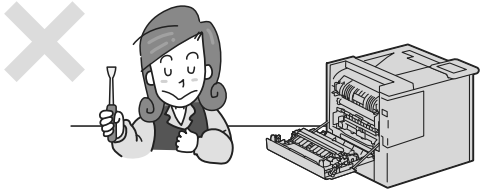
プリンターを 10 度以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。

キャスターのストッパーは必ずロック
プリンターを設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。
ストッパーをロックしないと、プリンターが思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。

機械使用上の注意

⚠ 警告

分解・修理・改造しない



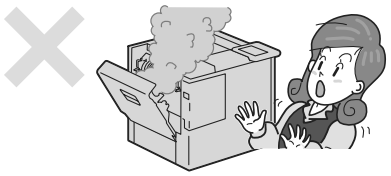
マニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理 / 改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

プリンター内に異物を入れない

プリンターの隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、プリンターの上に置かないでください。
- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むとプリンター内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源 OFF



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- プリンターから発煙したり、プリンターの外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- プリンターの内部に水が入ったとき
- プリンターが水をかぶったとき
- プリンターの部品に損傷があったとき

電気を通しやすい紙は使用しない

電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。

スプレータイプのクリーナーは使用しない

プリンターの性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

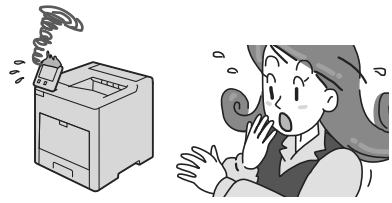
CD-ROM 対応プレイヤー以外では使用しない

付属の CD-ROM を CD-ROM 対応プレーヤー以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

定着ユニットの安全性

定着ユニットは取り外さないでください。定着ユニット内に詰まった紙を取り除く場合には、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。

壊れた液晶ディスプレイには触らない



壊れた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入った場合は、すぐに流水で 15 分以上洗浄して、医師に相談してください。

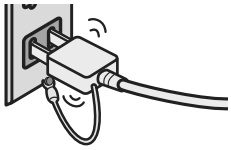
雷が鳴り出したらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

電源コードに薬品類をかけない

電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

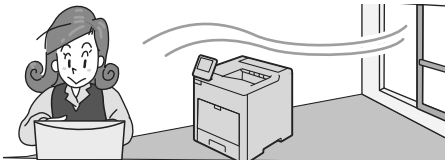
電源プラグを中途半端に差し込まない



電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々拭いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

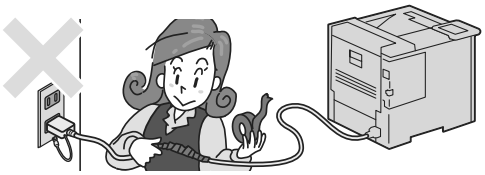
⚠ 注意

換気や通風を十分行う



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

破損した電源コードは使わない



電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

インターロックスイッチを無効にしない

プリンターのインターロックスイッチを無効にしないでください。プリンターのインターロックスイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。プリンターが作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

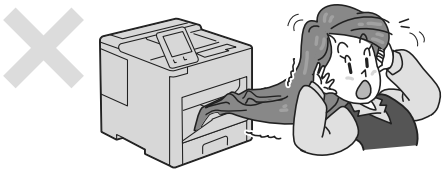
プリンター内部の詰まった用紙は無理に取り除かない

プリンター内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。
特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

高温注意

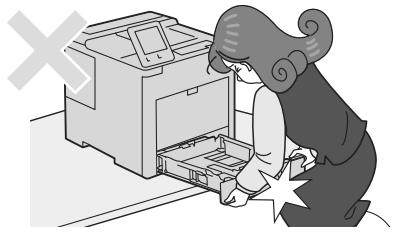
プリンターのカバーを空けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部分があり、触ると火傷するおそれがあります。

巻き込み注意



プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

用紙カセットを勢いよく引き出さない



用紙カセットを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。用紙カセットを勢いよく引き出すと、ひざなど身体にぶつかりけがをするおそれがあります。

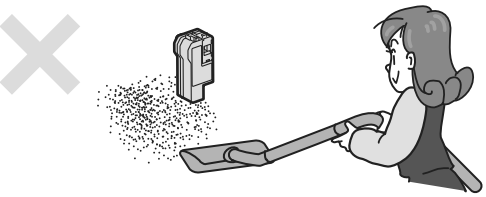
消耗品取り扱い上の注意

⚠ 警告

消耗品は正しく保管する

消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。

掃除機でトナーを吸い取らない



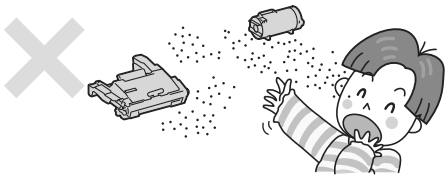
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。大量にこぼれた場合、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にご連絡ください。

トナーカートリッジやトナー回収ボトルを火の中に投げ入れない

トナーカートリッジやトナー回収ボトルは、絶対に火中に投じないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジやトナー回収ボトルは、必ずお買い求めの販売店または EP カートリッジ回収センターにお渡しください。弊社にて処理いたします。

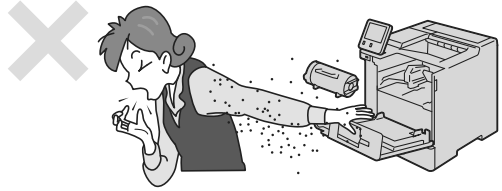
⚠ 注意

トナーカートリッジやドラムカートリッジは、幼児の手が届かない場所に保管する



トナーカートリッジやドラムカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。

トナーに触れたり、吸引したり、目や口に入れない



トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。

トナーが皮膚や衣服についたり、万一、目や口に入ったら応急処置

次の事項に従って、応急処置をしてください。

- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

規制について

⚠ 警告

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
  また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  - 本製品を分解 / 改造すること
  - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
- 産業・化学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
  ①構内無線局（免許を要する無線局）
  ②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。

- ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）
- 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
- 本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。

- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。
- その他、本製品から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本製品の設置および使用は許されません。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本製品を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本製品を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本製品を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライター部（アンテナ部）から 12 cm 以上離れて携行および使用してください。
電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本製品の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

電磁波障害対策自主規制について
この装置は、クラス B 機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。
VCCI-B

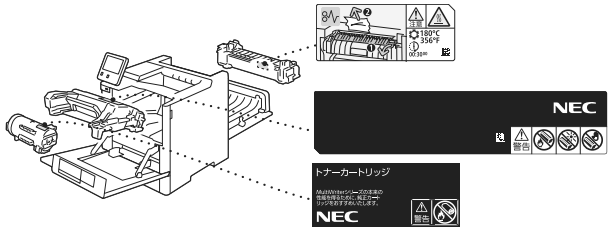
受信障害について
ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。
電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。
- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

警告および注意ラベルの貼り付け位置

本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。
特に「高温注意」「感電注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



SDS（安全データシート）の提供について

「労働安全衛生法」に基づき、本機用消耗品の SDS を弊社ホームページにて公開しています。

環境について

- **サポートについて**
  弊社は、本製品の消耗品および機械の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。
- 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルの Blue Angel に基づき試験を実施しました。
- 回収したトナーカートリッジまたはトナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジまたはドラムカートリッジおよびトナー回収ボトルは適切な処理が必要です。トナーカートリッジまたはトナー回収ボトルおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ずお買い求めの販売店または EP カートリッジ回収センターにお渡しください。

NEC MultiWriter をご購入のお客さまへ

～ 製品本来の性能でお使いいただくために ～

消耗品は NEC 純正品のご使用をおすすめします

NEC 純正の消耗品（トナーカートリッジなど）は、MultiWriter の動作・印刷品質がもっとも安定するように、MultiWriter 専用に開発・設計された商品です。
本機の性能を維持し、安定・快適な出力環境を得るため、**NEC 純正の消耗品をご使用されることをおすすめいたします**。
NEC 純正消耗品以外の消耗品 *1 を使用した場合、印刷品質低下等の不具合や本機の故障が発生した事例があります。*2
以下の場合、**無償保証期間内や保守契約期間内であっても**保証書・保守契約・PrinterSupportPack に基づく修理はいたしません。**別途有償修理対応となります**。ご使用にあたってはご留意願います。

- NEC 純正消耗品以外の消耗品の使用が原因で、本機に不具合や故障が発生した場合。
- NEC 純正消耗品以外の消耗品の使用が原因で、印刷品質低下等の不具合が発生した場合。

*1: NEC 純正消耗品以外の消耗品にはトナーを再充填した再生消耗品も含みます。
*2: すべての NEC 純正消耗品以外の消耗品で故障が起こるわけではありません。

本装置の消耗品の一覧を次に示します。

本装置の消耗品

プリンタ型番	品名	プリント可能ページ数	個数 ※3	消耗品型番
PR-L4M550	大容量トナーカートリッジ ブラック (K)	約 15000 ページ ※1	1	PR-L4M550-12
	トナーカートリッジ ブラック (K)	約 6000 ページ ※1	1	PR-L4M550-11
	ドラムカートリッジ (K)	約 60000 ページ ※2	1	PR-L4M550-31

※1: JIS X 6931（ISO/IEC 19752）に基づく公表値です。実際のプリント可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙の種類、使用環境などや、本体の電源 ON / OFF に伴う初期化動作や、プリント品質保持のための調整動作などにより変動し、公表値と大きく異なることがあります。
※2: プリント可能ページ数は、A4、片面プリント、像密度 10%（温度 23 ℃、湿度 55%）、1 度にプリントする枚数を平均 3 枚として連続プリントした使用条件における参考値です。実際のプリント可能ページ数は、用紙の種類、用紙送り方向、給紙・排紙トレイの設定、本体の電源 ON / OFF に伴う初期化動作、プリント品質維持のための調整動作などの使用環境により変動し、参考値の半分以下になることがあります。
※3:「個数」欄に記載された数字は、1 台あたりに使用されている個数を表します。

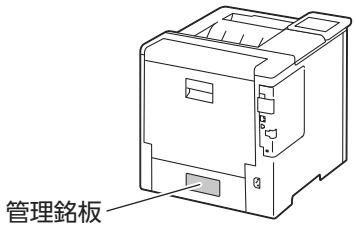
●本機購入時に同梱されているトナーカートリッジのプリント可能ページ数は次のとおりです。
ブラック約 15000 ページ

保証について

本機には「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」をご覧ください。また、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

補足

- 本機の背面に製品の型番、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせをする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一本機が保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。



保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心してご利用いただける、弊社指定の保守サービス会社をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- 契約保守
  年間一定料金で契約を結び、サービス担当者を派遣するシステムです。
- 出張修理
  サービス担当者がお客様のところに伺い、修理をするシステムです。料金は修理の程度、内容に応じて異なります。
- PrinterSupportPack
  PrinterSupportPack は、プリンターの障害復旧に必要なハードウェア保守を提供する保守パッケージ商品です。
  詳しくは、インターネットの Web ページ https://jpn.nec.com/printer/laser/support/psp/outline/index.html を参照してください。

保守サービスの種類

種類	概要	修理料金		お支払方法	受付窓口 *1
		保証期間内	保証期間外		
契約保守	ご契約いただきますと、修理のご依頼に対しサービス担当者を派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）保守料は、システム構成に応じた一定料金を前払いしていただくため一部有償部品を除き、修理完了時にその都度お支払いいただく必要はありません。保守費用の予算化が可能になります。	機器構成、契約期間に応じた一定料金		契約期間に応じて一括払い	NEC フィールディング（株）
スポット保守（出張修理）	修理のご依頼に対してサービス担当者を随時派遣し、修理いたします。*2（原則として派遣日にその場で修理いたしますが、故障の程度・内容により、お引取りして修理する場合もありますのでご了承ください。）ご契約は不要です。	無料 *3	修理料 + 出張料	そのつど清算	

*1 受付窓口の所在地、連絡先などはインターネットの Web ページ https://www.fielding.co.jp/per/index.html をご覧いただくか、お買い求めの販売店または MultiWriter サポート窓口にお問い合わせください。

*2 保守サービス会社は保守サービス実施にあたり、マイナンバー (個人番号) は取り扱いません。装置内に印字済み、若しくは印字途中の用紙や記憶領域等が存在し、マイナンバー (個人番号) を含む情報が残っている可能性がある場合は引取修理を承れませんので、必ずお客様立会いの下に修理を行うこととさせて頂きます。

*3 本製品は「出張修理対象品」ですので、保証期間内の出張修理は無料です。出張修理の対象となっていない製品は出張料のみ有料となります。

保守サービスの最新情報については、インターネットの Web ページ https://jpn.nec.com/printer/laser/support/ をご覧ください。

プリンターの耐久性について

本機の耐久性は印刷枚数 60 万ページ、または使用年数 5 年のいずれか早い方です。

補足

- 印刷枚数は、A4 の普通紙を片面連続印刷した場合の目安です。使用する用紙の種類、印刷環境などの印刷条件やプリンターの電源投入頻度などにより変動します。